

和歌山県

生協連ニュース

No.19



和歌山県生活協同組合連合会
TEL.073-474-9095 FAX.073-474-8649
http://www.wakayamakenren.jp/



2022年度の活動紹介

第32回 和歌山県生協大会



久保田会長挨拶

2022年12月8日、第32回和歌山県生協大会をわかやま市民生協E * K A Oホールにて開催しました。

生協大会は、年に一度和歌山県生協連の会員生協の役職員・組合員が一堂に会し、交流と連帯を深め、県内における生協活動の発展につなげることを目的に開催しています。新型コロナウイルス感染症の影響もある中、ハイブリット（会場とオンライン）開催とし、72人の参加がありました。

プログラム：

【一部】

開会

主催者挨拶

来賓ご挨拶

20年永年勤続表彰

大会アピール採択

【二部】

記念講演

閉会

一部式典では、久保田会長理事の挨拶、続いて臨席ご来賓の中から、和歌山県環境生活部県民局長中村裕詞氏、和歌山県農業中央会常務理事小川純生氏、和歌山県労働者福祉協議会常務理事高橋徳幸氏の3人よりご挨拶を頂きました。

20年永年勤続表彰では県連の会員生協で通算20年以上勤務された5人の功労に対し、表彰状と記念品を贈呈しました。

その後、大会アピールを高齢者生協小長谷氏より提案し、参加者全員で確認しました。



中村県民局長挨拶



永年勤続表彰

二部の記念講演は、「現在の国際情勢と日本の針路」と題し、立命館大学客員教授の数中三十二氏より講演頂きました。まず、国内の情勢として、岸田内閣は防衛費をGDP 2%にしようとしているが、国内でも一番の問題は、少子化問題だと考えられる。フランスのように、子どもを持つ家庭は家計に負担にならないぐらいの政策を実施しないと人口は増えない。

国際情勢として、ウクライナ戦争、中国問題、ASEANとの関係など細かく説明頂き、外交努力の大切さを解説頂きました。

参加者の感想では「外交の裏側のお話をおもしろく聞かせて頂きました。一番の問題は少子化との事、少子化対策の重要性を改めて感じました」「国際情勢、特に日本と中国の関係性について過去の経過も含め、わかりやすくリアルにご説明頂き、大変勉強になりました」などの意見を頂きました。



数中三十二氏 記念講演

和歌山県へ要望書を提出しました

毎年、県政の充実強化につながる施策提案や連携、会員生協の事業・運営に関する支援と理解促進を目的に和歌山県に要望書を提出しています。2022年10月5日に和歌山県環境生活部 生駒部長に、久保田会長理事から手渡しました。

11月18日に中村県民局長より回答書を受け取った後、丁寧な説明をいただきました。また消費者行政、医療介護行政、新型コロナウイルスへの対応、高齢者や子どもの居場所づくり、成年年齢18歳への対応、労働者協同組合法施行への対応などについて意見交流し、さまざまな面で県と生協連で連携・協力をすすめたいとお話いただきました。



久保田会長から生駒部長へ 要望書提出



回答書受取後の懇談

<今年度の主な要望事項> ~新たな要望事項中心に~

1. 消費者行政について
 - ・県、市町村の消費者行政の充実・強化、交付金等の財政支援を要望
2. 医療介護行政について
 - ・和歌山県の地域医療体制の確保と新型コロナウイルス感染症への対応強化としてPCR検査・抗原検査補助を要望
3. 災害対策・防災について
 - ・大規模災害発生時の対応強化、今年は大規模通信障害発生時の対策などを要望
4. 福祉・介護施設・環境施策について
 - ・子どもや高齢者の居場所づくりの継続的支援の拡充、物価値上がりなどへの対策の要望
5. 食品安全行政について
 - ・食中毒予防に向けて指導啓発の推進、食品表示のリスクコミュニケーションの実施・啓発・監視活動の要望
6. 食育について
7. 和歌山県の持続可能な開発(SDGs)ととりくみについて
8. 労働者協同組合法施行の対応について
 - ・労働者協同組合法の施行にともない、県民への周知、常設の窓口の設置を要望
9. 知事との懇談について
10. 県生協連、会員生協の事業や運営に関する支援について

関係諸団体との連携

「協同組合学習会」

2022年11月8日、和歌山県J Aビル2階「和ホール」(和歌山市)にて、和歌山県内の4つの協同組合が組織する「和歌山県協同組合組織連絡会」主催で「協同組合学習会」が開催されました。新型コロナウイルス感染症予防のため、参加人数を絞っての開催となりました。全体で41人、県生協連からは14人の参加がありました。

【講演】「社会的連帯経済とは何か」講師 立教大学教授 藤井 敦史 氏



社会的連帯経済とは現在の市場経済ではなく協同組合やNPO、地域の団体が協力し連帯関係を基盤とした、生命や生活を支える経済を創出する運動である。世界では、欧州や南米を中心に社会的連帯経済の法制化が近年すすんできたことを各国の事例も交えながら解説頂きました。

事例紹介として、和歌山県「麦の郷のとりくみ」、韓国「給食無償化運動のとりくみ」についてビデオも活用しながら説明を頂きました。

「防災・災害対策訓練」に参加しました

■関西広域連合主催「令和4年度関西広域応援訓練 実動訓練」参加

日 時：2022年10月20日（木）10：30～17：10
 場 所：三木総合防災公園会議室及び陸上競技場スタンド下倉庫（兵庫県）とオンライン
 出 席：関西広域連合構成団体、連携県、国、広域ブロック、物資供給協議会参画事業者
 近畿地区生協連等 計83人参加
 内 容：ワークショップ、実動訓練（0次拠点の開設、搬入・搬出等）、訓練検証会
 全体を通して

今回初めて、関西広域連合の0次拠点の訓練に参加しました。0次拠点は、府県の1次拠点が何らかの理由で開設できない場合、1次拠点に代わって府県が要請し使用する場所です。和歌山県で南海トラフ大地震が発生した場合、兵庫県三木市のこの場所から物資を送る場合も考えられます。物資拠点の大きさや和歌山からの距離など実際に見て、感じられたのがよかったと思います。



物資搬出訓練

■令和4年度 広域・同時多発災害対応訓練参加



ボランティア ミーティングの様子

主 催：和歌山県社会福祉協議会、和歌山県災害ボランティアセンター

日 時：2022年11月26日（土）9：00～15：00

場 所：日高川町社会福祉拠点センター・日高川交流センター

参 加：県・市町村社会福祉協議会職員、県ボランティアセンター協力団体災害ボランティア登録者、地元関係者等 計140人参加

内 容：災害ボランティアセンターの開設訓練、災害VC運営訓練、全体ミーティング

「第32回労働者福祉まつり」に参加しました

主 催 和歌山県労働者福祉協議会 後 援 和歌山県・和歌山市

日 時 2022年11月19日（土）10：00～15：00

場 所 和歌山城西の丸広場 テーマ 「秋の一日親子でたのしもう!」

参加人数 4,500人（主催者発表）

出展内容 果物と野菜の販売・生協紹介コーナーのブース出展

コロナウイルス感染症の影響で和歌山城西の丸での開催は、2年ぶりとなりました。コロナ対策として、入口を一箇所にし、体温チェック、代表者の連絡先の記入など対策を行っての開催となりました。

和歌山県生協連では、果物と野菜の販売・生協紹介コーナーを出展しました。

ミニ白菜と柿の販売を行い、14時頃に完売しました。また、生協紹介コーナーでは、県連主催「第32回生協大会」の案内、医療生協「フードバンクと何でも相談」の案内、市民生協「はじまるばこ」CO・OP共済の紹介を行いました。また、コピーとコーすけの着ぐるみでまつりを盛り上げました。



販売の様子

今後の活動紹介

●役職員研修会「和歌山防災センター視察と防災・減災対策」

日 時 2023年1月18日（水）13：30～15：30（予定）

会 場 和歌山県防災センター

集 合 県庁南別館前 開始10分前集合（和歌山市小松原通り一丁目1番地）

募集人数 30人 ※先着優先 参加対象 会員生協役職員

今後の活動紹介

●役職員研修会「生協で働くこと」

日時 2023年2月17日(金) 15:00~17:00
 場所 わかやま市民生協 E*KAOホール(和歌山市太田三丁目10番10号)
 講師 勝山 暢夫氏 日本生協連関西地連運営委員会議長
 日本生協連常任理事・大阪いずみ市民生協理事長

●第8回「0歳児からの音楽会」

日時 2023年3月29日(水) 10:00~、13:00~(2回公演)
 場所 わかやま市民生協 E*KAOホール(和歌山市太田三丁目10番10号)
 募集 30人(1回公演) 演奏者「Wa_Corda」わ・こるだ

●2022年度 福祉活動交流会

日時 2023年3月22日(水) 10:00~13:00(予定)
 場所 泉南生協福祉施設(和歌山市弘西571番地)
 集合 現地集合・現地解散
 内容 サービス付き高齢者住宅、セントラルキッチン等の施設見学
 募集 会員生協にお問合せ下さい。

ホットな消費者見守りニュース69号

～消費者被害にあわないための最新情報をお届けします!～

通信販売はクーリング・オフできません!注文前に返品条件等の確認を!の巻



見守りポイント

- 通信販売は実物を確認できないまま注文するため、届いた商品が思っていたものと違う場合があります。
- 返品・返金を希望しても業者が応じてくれないという相談が多くありますが、通信販売にはクーリング・オフ制度はありません。
- また、「1回だけのお試しのつもりで注文した商品が次回購入しなければならぬ定期購入が条件になっていた」という相談も多くあります。

対処方法

- 通信販売で商品を購入する際は、返品可否や条件等をよく確認してから申し込むようにし、商品が届いたらすぐに確認するようにしましょう。
- 通信販売で返品できるかどうかは、業者の定められた返品特約に従うことになり、返品不可と記載されている場合は、原則、返品はできません。また、返品できると記載されている場合でも、期限等の条件が設けられている場合があるため注意が必要です。

出典：2022年12月和歌山県消費者センター発行より抜粋

和歌山県消費生活センター

和歌山市手平2丁目1-2
 県民プラザ和歌山ビッグ愛8F
 電話：073-433-1551
 FAX：073-433-3904
 (月～金)9:00～17:00
 (土・日)10:00～16:00(電話相談のみ)
 (祝日・年末年始を除く)

和歌山県消費生活センター 紀南支所

田辺市朝日ヶ丘23番1号
 県西牟婁総合庁舎内
 電話：0739-24-0999
 FAX：0739-26-7943
 (月～金)9:00～17:00
 (祝日・年末年始を除く)

※短縮ダイヤル☎188でもお近くの相談窓口につながります。

協同組合がよりよい社会を築きます

和歌山中央医療生活協同組合・わかやま市民生活協同組合・和歌山県学校生活協同組合・和歌山県労働者共済生活協同組合
 泉南生活協同組合・紀の国医療生活協同組合・和歌山大学消費生活協同組合・和歌山県立医科大学生活協同組合
 和歌山高齢者生活協同組合・メルスィー生活協同組合・生活協同組合コープ自然派おおさか